

平成26年10月1日
 石川県教育委員会事務局
 文化財課庶務・文化財管理G
 担当者 横山、柿崎
 内線 5624
 直通 225-1841

「第61回日本伝統工芸展金沢展」の関連行事の実施について

児童・生徒の伝統工芸への理解と興味を深め、豊かな美意識を育むため、第61回日本伝統工芸展金沢展の関連行事である「伝統工芸こども鑑賞コース」として以下の事業を実施します。

(1) 伝統工芸学校出前教室

伝統工芸作家が学校へ赴き、伝統工芸の解説等を行う。

日時	講師	参加者	場所
10月3日(金) 13:50~15:15	よつ井 けん 氏(染織) やまぢか やすし 山近 泰 氏(陶芸)	野々市市立 ^{たちの} 館野小学校 4年生 74名	・マルチパーパス ・第2音楽室
10月7日(火) 13:55~15:35	あらかわ ふみひこ 荒川 文彦 氏(漆芸) さたけ よしなり 佐竹 巧成 氏(木竹工)	加賀市立 ^{しょう} 庄小学校 4~6年生 60名	・体育館 ・図工室

(2) こども染織教室

組ひもの製作体験として、ストラップを作成する。

日時	場所	講師	参加者
①10月25日(土) ②11月1日(土) 各回 13:30~16:00	県立美術館 広坂別館	ひがし せつこ 東 節子 氏 (日本工芸会準会員) ほか	各回 15名 (小学生~高校生) ※参加者募集済み

(3) 人間国宝の学校招待講座

県立美術館に児童・生徒を招いて、人間国宝が自身の体験談や伝統工芸の世界について、分かりやすく説明するとともに展示作品の解説を行う。

日時	場所	講師	参加者
11月7日(金) 9:30~11:30	県立美術館	なかかわ まもる 中川 衛 氏 (彫金)	羽咋市立 ^{よき} 余喜小学校 3・4年生 23名
11月7日(金) 13:30~15:10	”	なかの こういち 中野 孝一 氏 (蒔絵)	県立工業高校工芸科 1~3年生 120名

※第61回日本伝統工芸展金沢展の詳細については、別添チラシをご参照ください。

第61回

文化財保護強調週間
Cultural Properties Protection Week

—わが国の最高水準の伝統工芸358点を一堂に展示—

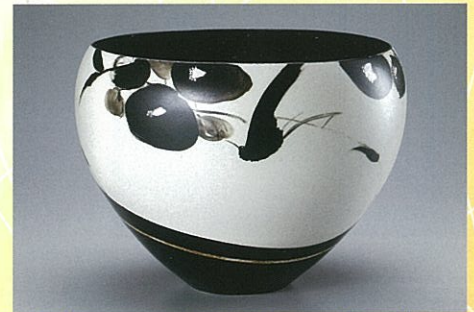
日本伝統工芸展

会期中無休
平成26年 10月31日(金)~11月9日(日)

午前9時30分~午後6時 (入場は午後5時30分まで)
ただし、最終日(9日)は午後5時まで(入場は午後4時30分まで)



文部科学大臣賞 《時絵八角箱「月華」》 大角 裕二 (石川)



朝日新聞社賞
《黒描鳥花文鉢》 米田 和 (石川)



日本工芸会奨励賞
《乾漆蓋物「暁」》 山田 勘太 (石川)



日本工芸会奨励賞
《朧銀花器「纏」》 清水 竜朗 (福井)

講演会

■演題 「受け継ぐこと 伝えること」

~型の美を求めて~

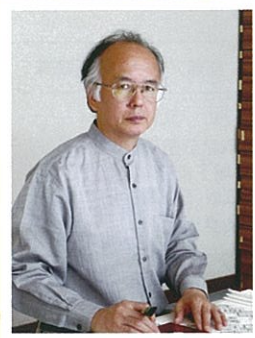
■講師 鈴木 滋人氏 (重要無形文化財「木版摺更紗」保持者)

■日時 11月2日(日) 午後1時30分~

■会場 石川県立美術館ホール

■参加費 無料

鈴木 滋人氏



観覧料

一般 600(500)円

大学生 400(300)円

高校生以下 無料

※()内は20名以上の団体料金

Ishikawa Prefectural Museum of Art

石川県立美術館

〒920-0963 金沢市出羽町 2-1 TEL 076-231-7580

URL <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp>

◆主催 石川県教育委員会・日本放送協会金沢放送局
朝日新聞社・北國新聞社・日本工芸会

◆後援 文化庁・富山県教育委員会・福井県教育委員会

— わが国の最高水準の **伝統工芸358点** を一堂に展示 —

第61回

日本伝統工芸展

主旨

我が国は、四季の気候条件に恵まれ、多様な自然環境を形成し、またその中で各地の風土に根ざした工芸品を生み出し、世界に誇る伝統工芸の盛んな国として知られています。

本展は、この優れた伝統技術の保護と後継者の育成、ならびに伝統工芸に対する普及を目的として開催しているもので、文化財保護法の趣旨にそって昭和29年に第1回展を開いてから、今年で61回を数えます。

今回は、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門の入選作品599点の内から、重要無形文化財保持者(人間国宝)や受賞者等の秀作、地元北陸の作家を中心とした入選作品など358点を展示します。伝統工芸の最高水準の公募展からは、時を越えて伝えられるべき傑作の数々が毎年輩出されています。この機会に、どうぞご鑑賞下さい。



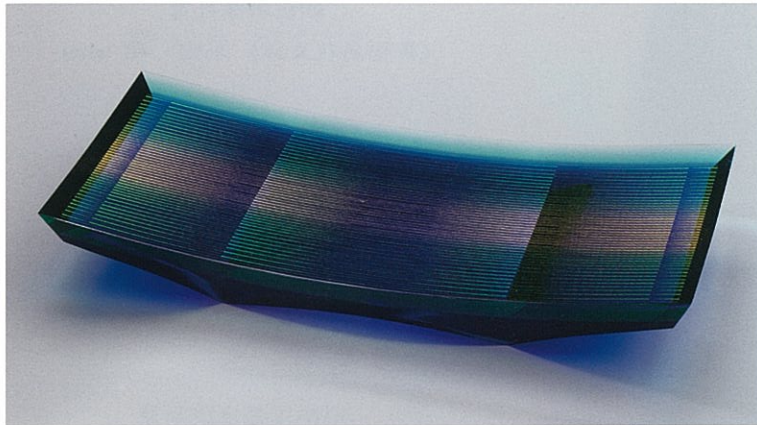
高松宮記念賞

ながたちゅうがたきじゃくさざなみもん まつばら のぶお
《長板中形着尺「漣文」》松原 伸生(千葉)



東京都知事賞

くろがきゆうせんよせぎ ぞうがんばんこ わたなべ あきお
《黒柿有線寄木象嵌箱》渡辺 晃男(東京)



NHK会長賞

おかねがら すちりほうざら りゅうえん やまもと あかね
《截金硝子長方皿「流行」》山本 茜(京都)



日本工芸会会長賞

すかしあじろばこ まつし はふ
《透網代箱》松本 破風(千葉)



日本工芸会保持者賞

ぎんろだ かき ふゆいん おおすみ ゆきえ
《銀打出し花器「風韻」》大角 幸枝(東京)

◆主な出品作家(北陸関係)◆

※重=重要無形文化財保持者
※鑑=鑑査委員 ※特=持待者

陶芸	吉田 美統(重) 中田 一於(特)	金工	三代魚住為楽(重) 中川 衛(重) 大澤 光民(重)
染織	二塚 長生(重)	木竹工	川北 良造(重) 灰外 達夫(重) 川北 浩彦(特)
漆芸	前 史雄(重) 小森 邦衛(重) 中野 孝一(重) 市島 桜魚(特)	人形	紺谷 力(鑑)

◆展示作品解説◆

日 時	11:00~	13:30~
11/1(土)	《染織》二塚 長生	《陶芸》武腰 潤
2(日)	《金工》大澤 光民	講演会
3(月・祝)	《染織》毎田 健治	《陶芸》宮西 篤士
4(火)	《金工》村上 浩堂	《漆芸》前 史雄
5(水)	《漆芸》中野 孝一	《人形》紺谷 力
6(木)	—	—
7(金)	《木竹工》灰外 達夫	《陶芸》中田 一於
8(土)	《金工》三代魚住為楽	《漆芸》小森 邦衛
9(日)	《木竹工》川北 良造	石川県立美術館長 嶋崎 丞

◆テレビ放映(NHK総合)◆ (予定)

北陸スペシャル
「日本伝統工芸展金沢展(仮)」

放送: 11月1日(土)午前11時30分~11時53分
(石川県・富山県・福井県で放送)



交通アクセスのご案内

[バス]
JR金沢駅東口バス
「城下まち金沢周遊号」で
広坂(石浦神社前)下車、
徒歩5分
[タクシー]
JR金沢駅から約15分
[自家用車]
北陸自動車道金沢西インター
または、
森本インターから20~30分

Ishikawa Prefectural Museum of Art
石川県立美術館

〒920-0963 金沢市出羽町 2-1 TEL 076-231-7580
URL <http://www.ishibi.pref.ishikawa.jp>